

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(1/4)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
太田川沖合1km付近(T-S1)	アカエイ(筋肉)	2022/5/11	< 4.1E+00	< 4.1E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	カナガシラ(筋肉)	2022/5/11	< 3.6E+00	< 3.7E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	クロソイ(筋肉)	2022/5/11	< 3.5E+00	< 3.7E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1) <sup>※1</sup>	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/11	< 5.5E+00	< 5.7E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	マコガレイ(筋肉)	2022/5/11	< 3.3E+00	< 3.6E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	イシガレイ(筋肉)	2022/5/11	< 3.8E+00	< 3.7E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	キアンコウ(全体)	2022/5/11	< 3.3E+00	< 3.6E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	コモンカスベ(筋肉)	2022/5/11	< 4.0E+00	< 4.3E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/11	< 3.8E+00	< 3.7E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2) <sup>※1</sup>	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/5/11	< 5.0E+00	< 5.3E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(< : 小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

※1 分析機関：(株)化研

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(2/4)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
小高区沖合3km付近(T-S2)	マサバ(筋肉)	2022/5/11	< 4.4E+00	< 3.8E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	ムシガレイ(筋肉)	2022/5/11	< 3.1E+00	< 3.0E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ガザミ(全体)	2022/5/12	< 4.0E+00	< 4.1E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	クロソイ(筋肉)	2022/5/12	< 3.2E+00	< 3.2E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	コモンカスベ(筋肉)	2022/5/12	< 3.0E+00	< 3.3E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/12	< 3.7E+00	< 3.8E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3) <sup>※1</sup>	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/5/12	< 5.4E+00	< 5.8E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ホシエイ(筋肉)	2022/5/12	< 2.9E+00	< 3.5E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	マサバ(筋肉)	2022/5/12	< 3.8E+00	< 3.4E+00	ND
1F敷地沖合3km付近(T-S4)	キアンコウ(全体)	2022/5/12	< 3.6E+00	< 3.1E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(< : 小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。  
(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

※1 分析機関：(株)化研

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(3/4)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	コモンカスベ(筋肉)	2022/5/12	< 3.3E+00	< 3.8E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4) <sup>※1</sup>	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/12	< 5.8E+00	< 4.9E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	ホシエイ(筋肉)	2022/5/12	< 3.4E+00	< 3.7E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	マサバ(筋肉)	2022/5/12	< 3.5E+00	< 3.3E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	ムシガレイ(筋肉)	2022/5/12	< 3.5E+00	< 3.5E+00	ND
熊川沖合 4 k m 付近(T-S8)	アブラツノザメ(筋肉)	2022/5/10	< 3.1E+00	< 3.9E+00	ND
熊川沖合 4 k m 付近(T-S8)	カナガシラ(筋肉)	2022/5/10	< 3.4E+00	< 3.2E+00	ND
熊川沖合 4 k m 付近(T-S8)	ガザミ(全体)	2022/5/10	< 3.0E+00	< 3.8E+00	ND
熊川沖合 4 k m 付近(T-S8)	キアンコウ(全体)	2022/5/10	< 3.7E+00	< 3.7E+00	ND
熊川沖合 4 k m 付近(T-S8)	コモンカスベ(筋肉)	2022/5/10	< 3.8E+00	< 3.7E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(< : 小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

※1 分析機関：(株)化研

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(4/4)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
熊川沖合4 km付近(T-S8)	トラザメ(筋肉)	2022/5/10	< 3.7E+00	< 4.1E+00	ND
熊川沖合4 km付近(T-S8)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/5/10	< 3.9E+00	< 3.5E+00	ND
熊川沖合4 km付近(T-S8)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/5/10	< 3.9E+00	< 4.2E+00	ND
熊川沖合4 km付近(T-S8)	ムシガレイ(筋肉)	2022/5/10	< 3.6E+00	< 3.2E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $○.○E±○$ とは、 $○.○×10^{±○}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1×10^{-1}$ で31, 3.1E+00は $3.1×10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1×10^{-1}$ で0.31と読む。